株式会社和幸製作所

熊本県宇城市

熊本初２アークロボットシステム導入によるQCDの実現

当社は、平成元年の設立時より、建築材料を主とした鉄骨の製造・鋼構造物の製造を行っています。熊本地震以降、鉄骨建物の需要が増え、ホテルやビルなどの大型物件の受注打診が急増しましたが、既存の生産設備では、受注が難しい状況にありました。そこで、熊本初の2アークロボットシステムを導入し、QCD「品質向上、コスト削減、短納期」の実現を図りました。

●所在地	〒869-0512 熊本県宇城市松橋町古保山1337番地の4
●電話／FAX	0964-33-5889／0964-33-5599
●代表者	代表取締役　古賀 靖章
●資本金	300万円
●従業員数	18名
●業種	金属製品製造業
●事業年度	平成29年度補正

事業取り組みの経緯

熊本地震以降、ホテルやビルなど大型物件の鉄骨加工の依頼が増えました。しかし、大型物件で用いる鉄骨は板厚が厚いため、既存の半自動溶接機では熟練工が長時間作業しても不良が発生することもあり、短納期での受注が難しく、結果的に受注を断るか外注に頼らざるを得ない、という課題がありました。



QCD「品質向上、コスト削減、短納期」の実現

実施内容

そこで、大型鉄骨の加工が可能で生産性の高い、鉄骨溶接ロボットシステム「柱大組立溶接システム（２アーク型）」を導入しました。このシステムは、溶接時間が従来比で約1/2、長時間の無監視運転、高い加工技術、高品質な溶接技術など、多種多様な物件に対応できる能力を備えたものです。人力に頼っていた工程が自動化され、不良発生の減少により、生産効率が向上し、作業人員の削減も可能となりました。



導入した柱大組立溶接システム（2アーク型）

事業取り組みの成果

現在、熊本県内にはこの2アーク型のロボットシステムを取り入れている企業は当社以外になく、受注は好調に推移しています。工場増設も視野に入れながら、最大生産効率での稼働を検討しているところです。作業人員の削減、加工時間の削減により、教育訓練に力を入れることが可能となり、各工程において次世代を担う専門知識を備えた人材が育ってきました。他者との差別化・競争力の強化と共に、目標として掲げてきたQCD「品質向上、コスト削減、短納期」が実現しました。



様々な形状の大型鉄骨柱の溶接が可能となった